

ネイチャーSBTs: 目標設定ウェビナー

ご参加ありがとうございます。開始時刻まで今しばらくお待ちください。

2024年12月6日(金) 16:00-17:00



※本ウェビナーは、無断録画・録音・掲載は禁止しております。
※ご質問の際は画面下のチャット機能を使用して、全員宛に質問内容をご入力ください。
※画面下の通訳ボタンより英語もしくは日本語の選択ができます。

プログラム(敬称略)



16:00-16:05 SBTNからの最新情報

CDP Worldwide-Japan 角田恵里

16:05-16:25 ネイチャーSBTsガイダンスの改定箇所の解説(録画)

八千代エンジニアリング株式会社 佐藤怜

16:25-16:55 ネイチャーSBTs事例紹介(同時通訳付)

WWFフランス Alizée Masson

Christopher Rannou

16:55-17:00 質疑応答

SBTネットワークからの 最新情報

CDP Worldwide-Japan 角田恵里

2024年12月6日(金) 16:00-17:00

ネイチャーSBTs (=Science Based Targets for Nature)



・目標設定者が、プラネタリーバウンダリー(地球の限界)と社会の持続可能性目標に沿って行動するための、利用可能な最善の科学に基づく、測定可能・実行可能な期限付きの目標。自然に関する行動への統合的なアプローチ。

5つの主要な行動領域



炭素排出量の
削減



淡水資源と水
のセキュリティ
の保全



生物多様性と
生態系サービ
スの支援



土地システムの
保全と再生



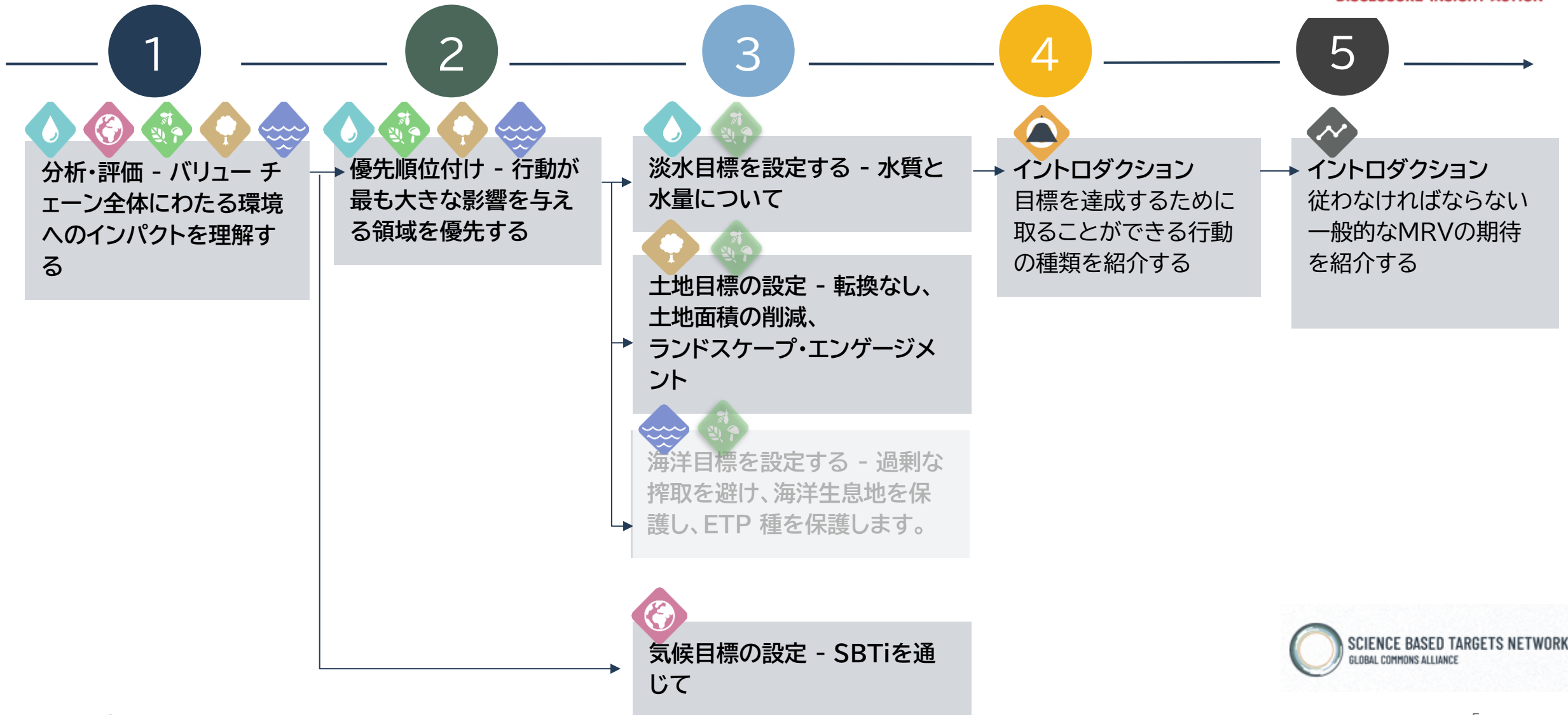
健全で多様性の
ある海を守る



- SBTNは、企業が
 - 適切な場所で
 - 適切な時間軸で
 - 適切な行動をとることを可能にすることで、
- 2030年までに自然損失を食い止め、反転させるために自らの役割を果たすことを可能にする。



ネイチャーSBTsテクニカルガイダンス



ネイチャーSBTsに関するマイルストーン

ネイチャー
SBTsの最初
のリリース

SBTを設定す
る最初の企業

企業マニュアル
(2024年7月)

パイロット企業
認定報告要約
(2024年7月)

ガイダンス更新版、
ステークホルダー
ガイダンス
(2024年7月)

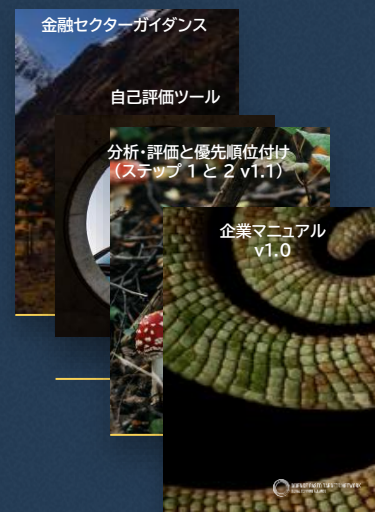
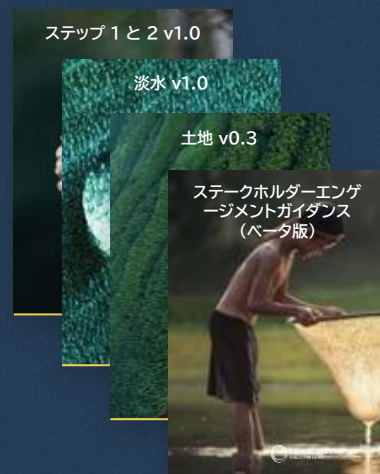
目標認定手続きの開
始(2024年後半)

SBTNの2025
年の発表には初
の海洋目標も含
まれる

2023

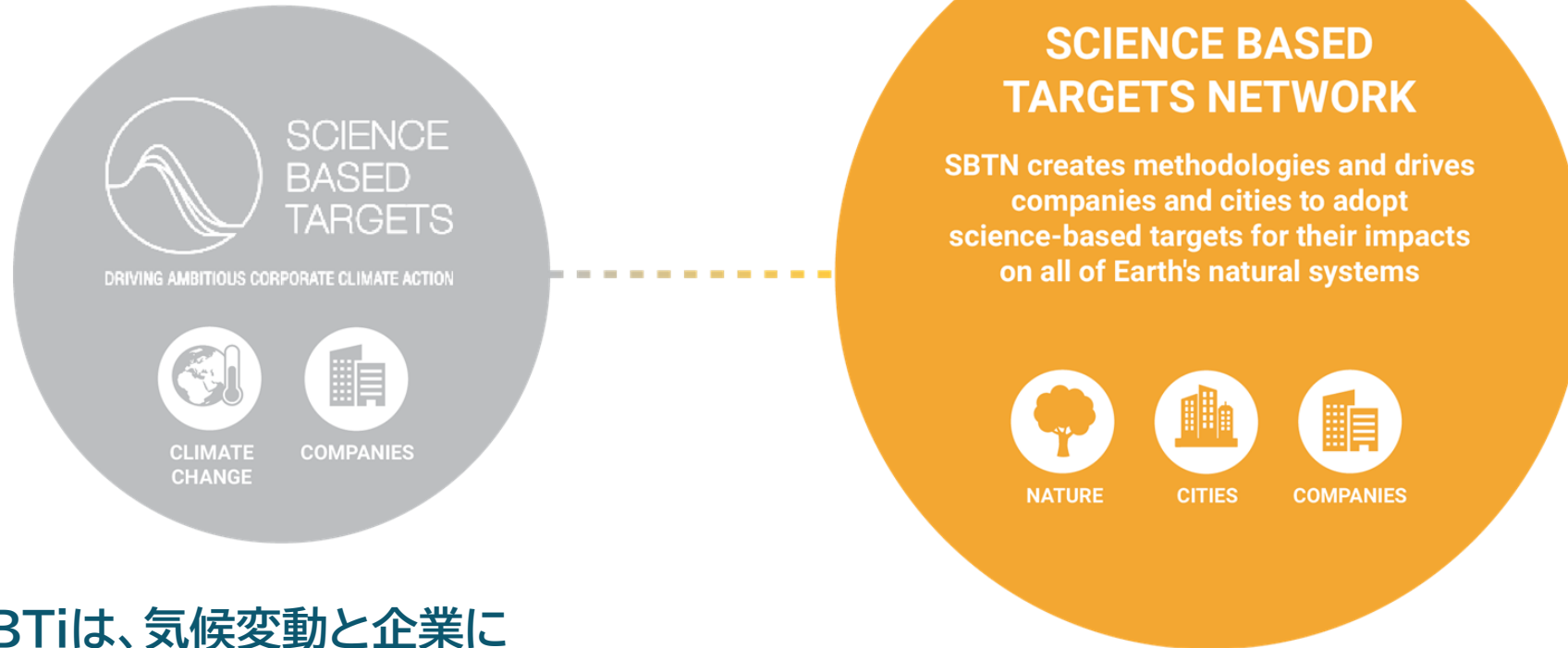
2024

2025



SCIENCE BASED TARGETS NETWORK
GLOBAL COMMONS ALLIANCE

ネットゼロ、ネイチャーポジティブへの道



SBTiは、気候変動と企業に
焦点を当てている

一方、SBTNは気候変動・企業だけでなく、
自然分野や都市にも展開している

SBTネットワーク創設パートナー (SBTN: Science Based Targets Network)



SBTネットワーク

80を超える パートナー



SCIENCE BASED TARGETS NETWORK
GLOBAL COMMONS ALLIANCE

ネイチャーSBTsの拡大

(SBTs for nature: Science-Based Targets for nature)



- 17の先進企業
- 20,000以上のデータポイント

- 160社以上の参加
- 時価総額4兆ドル以上

• 30か国以上



SCIENCE BASED TARGETS NETWORK
GLOBAL COMMONS ALLIANCE

初回ターゲット認定グループ(ITVG)

一般公募により、2023年に自然を対象とした最初のSBTを試験的に実施する17社が選ばれた。選考基準には、準備状況、代表者、自然への影響などが含まれた。
パイロットの後、認定プロセスを経て、三社が認定目標を公開した。

パイロット企業

- ABインベブ
- アルプロ(ダノン傘下)
- ベル
- カルフル
- コルビオン
- グラクソ・スミスクライン
- PLC (GSK)
- H&Mグループ
- ヒンドゥスタン・ジंक・リミテッド
- ホルシム・グループ
- ケリング
- ロクシタン・グループ
- LVMH
- ネスレ
- ネステ・コーポレーション
- サントリーホールディングス株式会社
- テスコ
- UPM

セクター

- 飲料・食品製造
- 医薬品
- アパレル・アクセサリー小売
- 建設・インフラ製造業
- 消費財小売(パーソナルケア製品)
- エネルギー生産
- 一般小売
- 林産物製造業

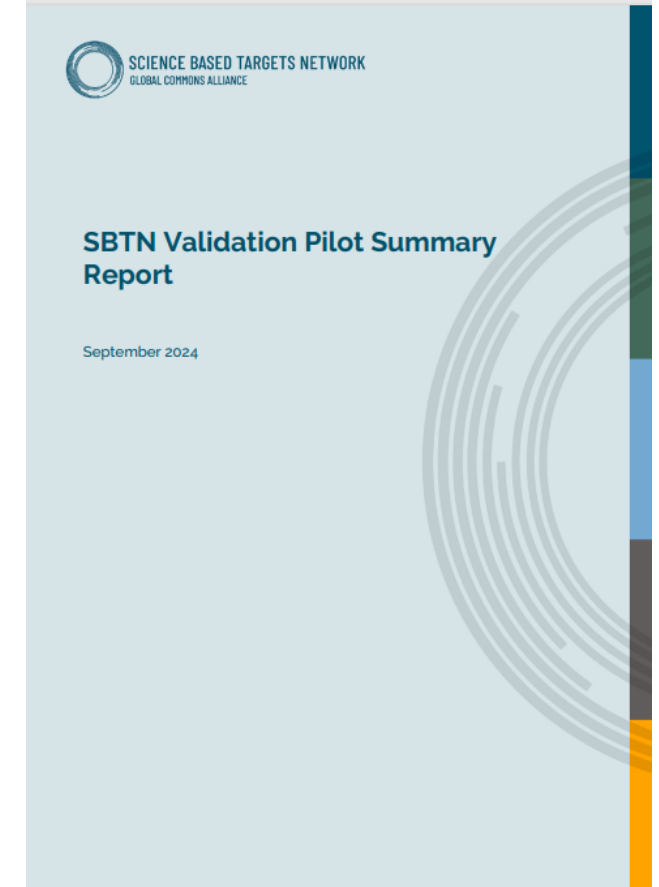
カントリー本部

- ベルギー
- インド
- フィンランド
- フランス
- オランダ
- スウェーデン
- スイス
- 日本
- 英国

ネイチャーSBTsの認定



- ・パイロット企業17社、今年より認定プロセスに入った
- ・その結果、CBD COP16にて、以下のグローバル三社がネイチャーSBTs認定を取得したことを発表
 - Kering（仏／土地と淡水目標）
 - GSK（英／淡水目標のみ）
 - Holcim（瑞西／淡水目標のみ）
- ・詳しくは、ネイチャーSBTs認定パイロットサマリーレポートを参照
- ・パイロット企業のうち、半分以上は、いくつかの目標で認定を受ける予定、残りの企業は、2025年1月までに認定を受けるか、2024年7月発行の改定ガイドラインに基づき再申請が行われる予定
- ・ネイチャーSBTs認定企業リスト(Target Tracker)



ネイチャーSBTsガイダンスと事例紹介



・初期ガイダンス概要については、[CDPウェビナー「自然分野の情報開示と目標設定」](#)を参照。

(当日資料：[CDP 質問書と自然分野の取組の最新動向／ネイチャーSBTs ガイダンスの概要](#)／[環境省からのご案内](#))

(当日録画：[こちら](#)、質疑応答：[こちら](#))

・パイロットプロセスで確認された課題に基づき、改定ガイダンスが発行された。本ウェビナーは、その改定箇所の解説にフォーカス。

・パイロット企業の事例紹介

([SBTNウェブサイト\(Case Studies\)](#)、[パイロットサマリーレポート](#)、[WWFフランス事例レポート](#)等を参照)



[パイロット企業や支援NGOの声
\(ビデオ\)](#)



[WWFフランス事例レポート](#)

Q & A

※画面下のチャット機能を使用して、全員宛に質問内容をご入力ください。